

東大見学 レポート

1. ディレクトフォース

私が三菱商事さんへ行けるとわかったとき、とても嬉しかった。私のなかでは三菱商事という会社は日本一、世界有数の商社であるというイメージがあったからだ。しがし、よく考えてみると、三菱商事という会社について自分はなにも知らなかったということがわかった。実際、商社そもそもが具体的にどんな仕事をしているのかさえわからなかった。

実際に会社の近くへ行ってみると、まず私は丸の内の雰囲気には圧倒されてしまった。学校が市街地に近いためビル群を見慣れていると思っていたのだが、丸の内にあるすべてのビルがとても綺麗で緑が多く、とても感動しいつかはこのような場所で働いてみたいと思った。

会社の中へ入っても驚きの連続であった。まず、周りをみわたすととても緑が多いのだ（さっきも書いたのだが…）。これほどまでに緑が多いと仕事に疲れてしまったときでも緑を見てリフレッシュすることができ、会社の雰囲気もよくなるのだなと感じた。まだ、美人イケメンが多いということにも驚いた。やはりできる人はオーラから違うのだなと思いこれからは、身だしなみも整えなくてはならないと痛感した。

社員の方々とお話しをしてみると、高校時代に様々な経験をしていたうえに、どんなことにも積極的にチャレンジしていたということがわかった。私はどちらかというと、消極的で否定的に考えてしまう。しかし、人間として成長するためには、もっといろいろな事を経験しなくてはならないと思った。まずは、もうすぐある北陵祭で自分が苦手だと思っている客引きも積極的に行いたいと思う。積極的にいろいろな事を経験することは、私を次のステップへ、導いてくれると思う。

社員の方々のお話しを聞くと、全員が仕事に対して誇りをもっているのだなと感じた。仕事に誇りを持っているということはすなわち、仕事に全力で取り組んでいるということなのではないか。私は最近部活でも、勉強でも少しだれてしまっているのかもしれない。もう一度ネジをまきなおし、何事にも全力で取り組み、自分の行いに誇りを持てるようになりたい。

また、海外へいく機会が多いとも聞いた、わたしは英語が得意なほうではないのだがこれからはグローバルな時代になるので、そのような社会に置いていかれないように、これからしっかりと学習をしていきたい。海外の人とふれあううえでは、互いの国のぶんかや歴史などをしっかりとっていなければならないと思う。国数英の力だけでなく他の教科にも、力をいれなくてはならない。

社員の方々とお話しおしたことによって、自分の今の課題点やこれから何をすべきかを知ることができた。とても感謝している。

2. 企業大学訪問

私は、共同通信さんへ見学に行った。共同通信とは、マスコミ各社に情報を提供している企業である。自分は今まで、情報はテレビ局や新聞社が自ら取ってくるものだとおもっていた。しかし、共同通信やロイター通信、AP通信など日本だけでなく、世界中に通信社があるということがわかり、マスコミ界で大きな地位を占めているということを知り、マスコミ界の裏側的な仕事にも引かれるようになっていった。（実際わたしはテレビ局や新聞社など、いわゆる発信する側の仕事に興味をもっていた）

実際に共同通信について調べてみると、日本だけでなく世界各地に支社をもっており、世界的な企業であるということがわかり、そんなことも知らなかった自分が恥ずかしくおもえてきた。

会社に入り、担当の方と話したとき「あーなんかマスコミらしい人だな」と思った。しかし、すれ違った社員の方々をみると、イメージしていたかんじの人だけでなくさまざまなタイプの人があった。やはり、

いろいろなタイプの人が出たほうがよい仕事ができるのだなと思った。私もこれから様々なタイプの人と関わりを持ち、彼らの良いところを吸収して、より良い人間になれるようにしたい。

記事のネタを集める上で大切なことは、人間関係であると学ぶことができた。いろんな業界の方々と親しくなることで、彼らから特別に情報を貰えることがあるらしい。やはり、どんな仕事でも人間関係は大切であり、高校時代に学習面だけでなく、コミュニケーション能力も高めていくことが大切だと感じた。

また、世界各地に支店を持っているため、英語やその他の外国語の能力の必要だと考えた。今はどんな会社に勤めることになっても、外国語能力と、コミュニケーション能力が必要だと思った。

3. 座談会

二高の先輩方とお話しをしたことで、大学生活についての理解を深めることができた。今まで大学生活というと、「自由なんだろうなー」というイメージしかなく、その他の考えは無かった。しかし、実際に大学生と話してみると、大学は勉強だけでなく、サークルや、部活など楽しいことがたくさんあると、知ることができた。しかし、東大のようにレベルのたかい大学だと、学生それぞれが自分のしたいことや、なりたい職業について、よくかんがえており、切り替えがとても早いといていた。彼らは、遊ぶときは、とてもよく遊ぶらしいが、テスト前はテスト勉強に集中するらしい。

受験勉強では、自分の苦手分野と、得意分野をしっかりと分析して自分にあった勉強の計画を立てていたらしい。私はあまり計画を立てないほうなので、しっかりと自分をしり、苦手を克服していきたい。

4. 東大オープンキャンパス

私は法学部の講義を受けた、大学の授業のイメージがなかったため、高校の授業以上に深く、専門的な授業は、とても面白かった。しかし、教授は学校の先生とくらべて、話しのペースがとてもはやく、メモをとるのが大変だった。やはり、全てを板書するのではなく、話しの重要なところを見極めて要点だけをメモするということが大切だと思った。

キャンパスを歩いてみると、とても歴史のありそうな立派なレンガの建物が多かった。明治からある大学ならではのもので、とても感動した。自分も歴史のある大学に入りたいと思った。

これからは、東大目指して学習に励みたいと思う。